

外断熱・二重通気の住みごころ

ソーラーキットの家

販売店・工事店さま用

SCナビ用小屋裏ファン， 小屋裏給気口

形名 SC-RF	SC小屋裏ファン
P-18DUEQ3-KN	中間取付形電動シャッター（電動シャッター）
P-18BDP	ベントキャップ（小屋裏吸込口）
P-18KV4-BL	耐外風高性能フード（フード）
P-18QR	レジスター（小屋裏給気口）

据付説明書

この説明書は上記製品全体の据付けについて説明しています。個々の製品に同梱されている据付説明書と併せてお読みください。

正しく安全に据付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、「安全のために必ず守ること」は据付け上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 接続ダクトは所定のSCナビシステム用小屋裏ファンダクトセットを別途ご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスが漏れるおそれのある場所には据付けない ●ガス漏れに気付いたときは、SC小屋裏ファンのスイッチ(SCナビゲーター)を入・切しない 爆発・引火の原因。 ●常時振動したり、振動しやすい場所には据付けない 落下によるけがの原因。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●高温（40℃以上）や直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。 ●温泉地など有害ガスが発生するおそれのある場所には据付けない 故障の原因。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 (SC小屋裏ファンおよび電動シャッター) 	 風呂・シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所には据付けない 感電・故障の原因。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店にご相談ください。 		<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。
 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

お願い

SC小屋裏ファン本体に同梱してある別冊の「SC小屋裏ファン据付説明書」の[2.据付け前のお願い]とあわせてお読みください。

据付け

- フードは点検や清掃が容易にできる場所へ据付けてください。
- SC小屋裏ファン、電動シャッターはメンテナンスが容易にできる場所へ据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外にむけて下り勾配の傾斜をつけてください。
(排気ダクト：1/100以上、給気ダクト：1/30以上)
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

●極端な曲げ



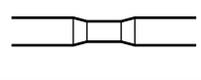
●多数の曲げ



●吐出口のすぐそばでの曲げ



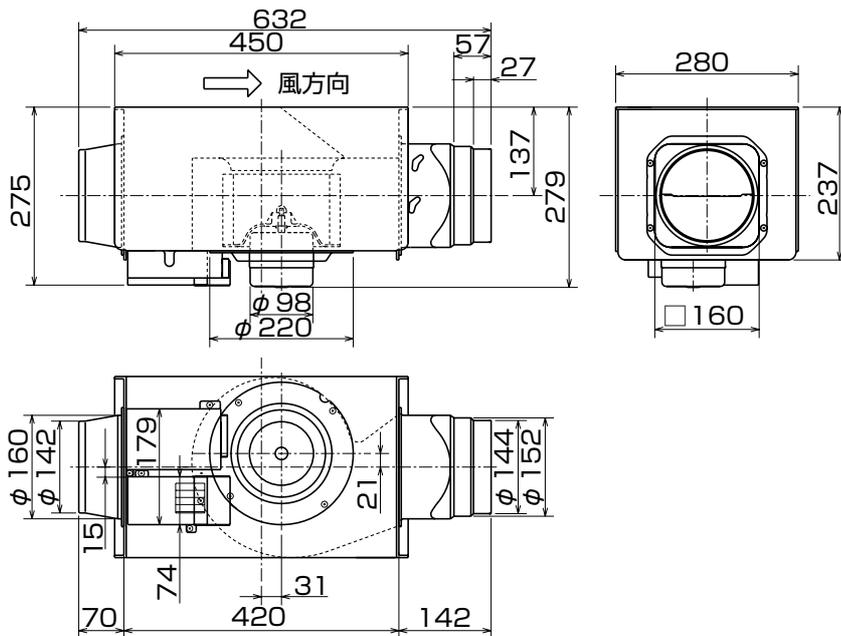
●しぼり



2.外形寸法図

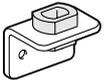
形名

SC-RF



付属部品

天吊金具(1) ……2個



天吊金具(2) ……2個



天吊金具据付ネジ…8本



ダクト接続口……1個



据付ネジ……4本

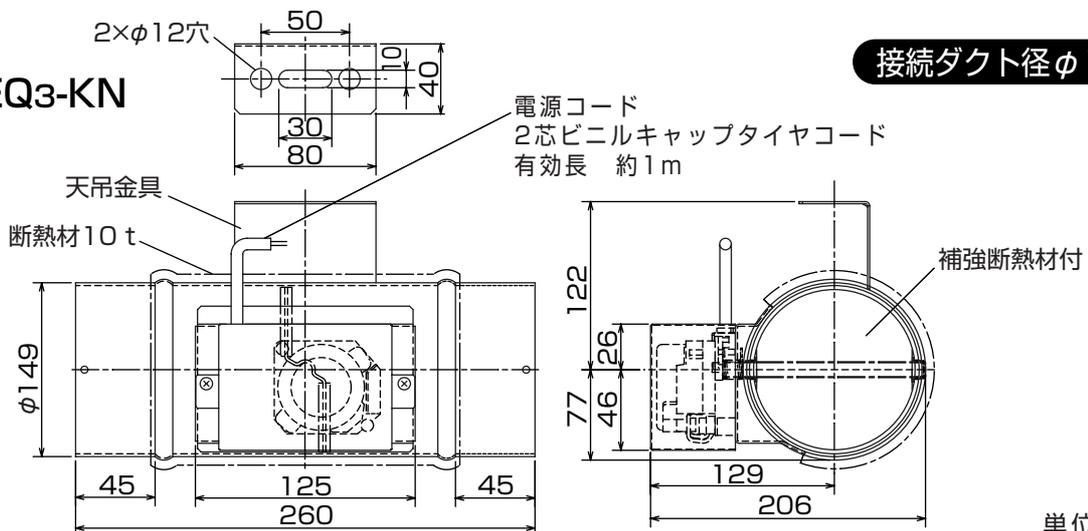


接続ダクト径 $\phi 150$

単位(mm)

形名

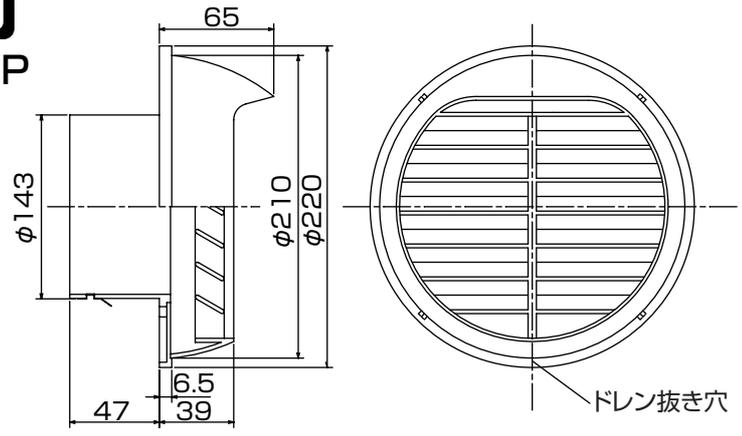
P-18DUEQ3-KN



接続ダクト径 $\phi 150$

単位(mm)

形名
P-18BDP



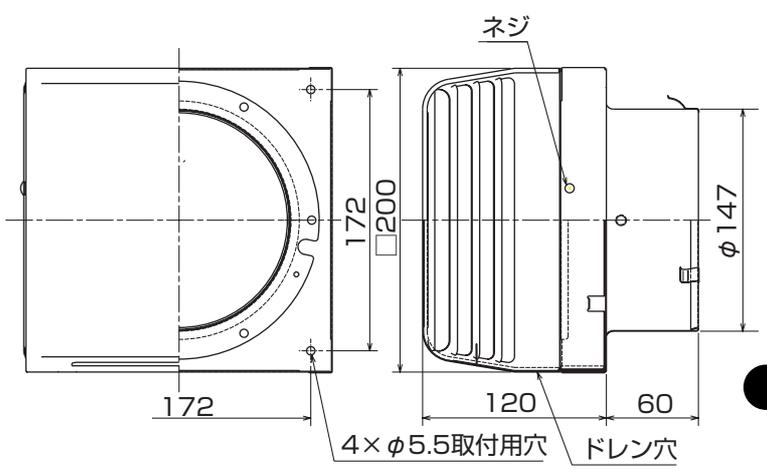
付属部品

- クッション (厚さ3mm).....1本
- クッション (厚さ5mm).....1本

接続ダクト径φ150

単位 (mm)

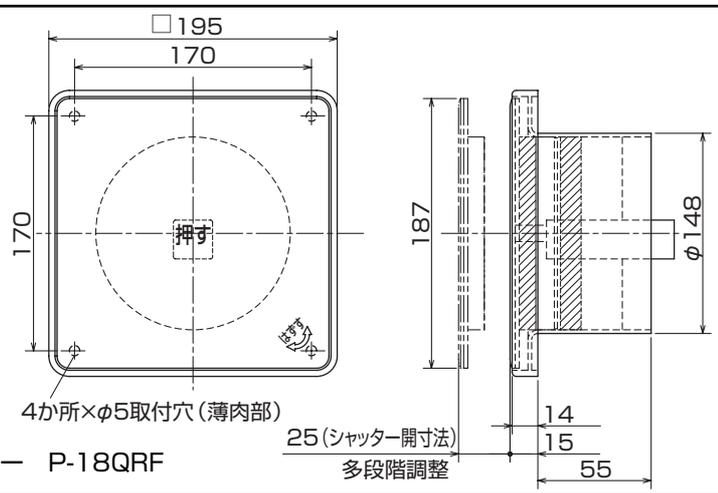
形名
P-18KV4-BL



接続ダクト径φ150

単位 (mm)

形名
P-18QR



付属部品

- 気密パッキン (厚さ3mm).....1本
- 気密パッキン (厚さ5mm).....1本

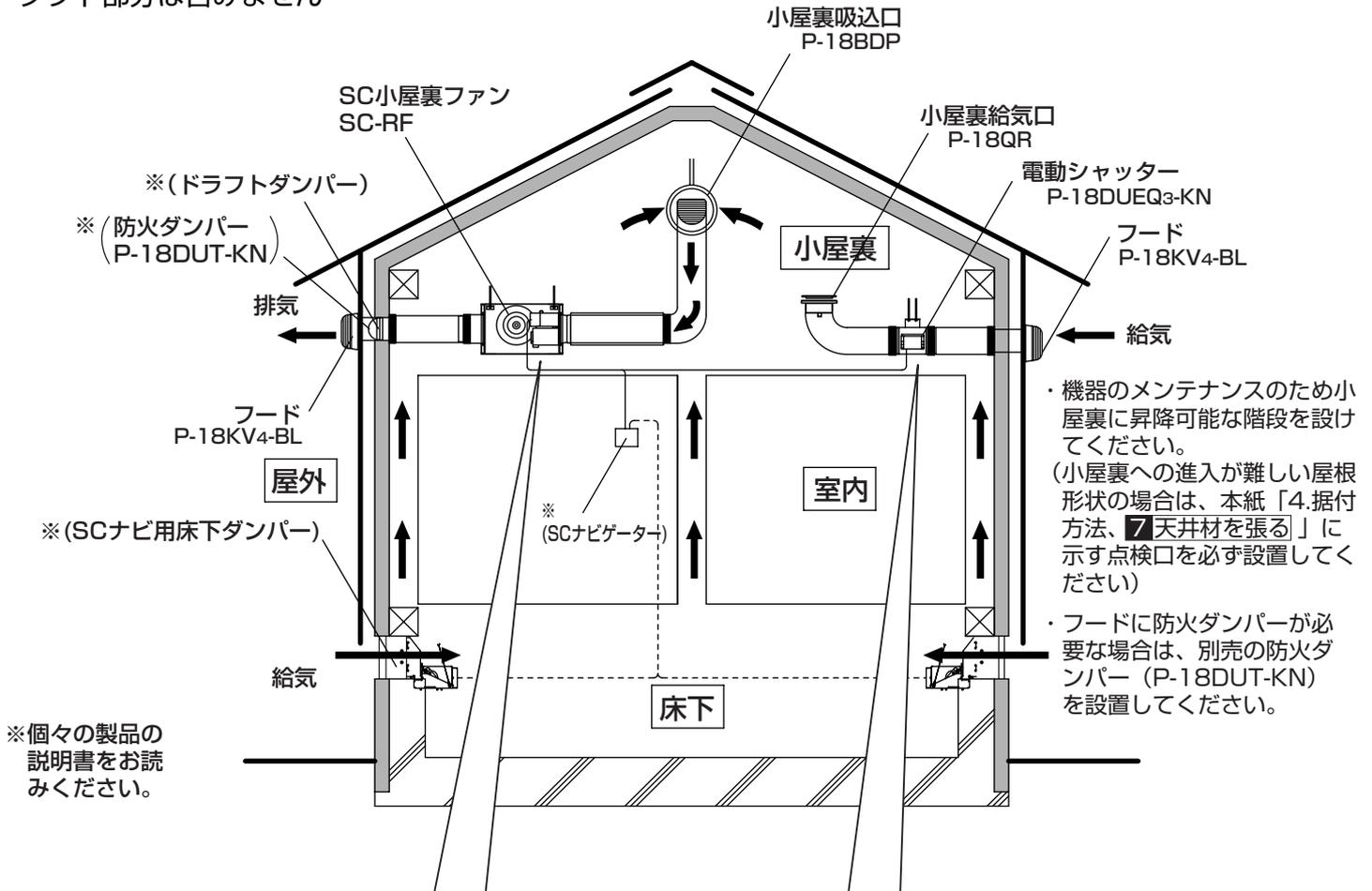
接続ダクト径φ150

単位 (mm)

*交換用フィルター P-18QRF

3.据付例

ダクト部分は含みません

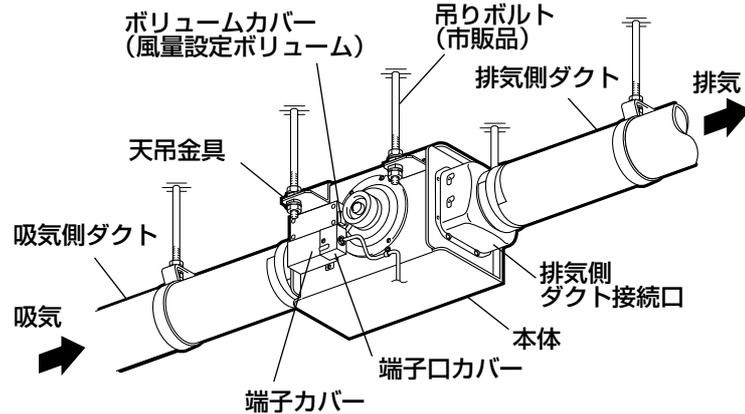


- ・機器のメンテナンスのため小屋裏に昇降可能な階段を設けてください。
(小屋裏への進入が難しい屋根形状の場合は、本紙「4.据付方法、**7**天井材を張る」に示す点検口を必ず設置してください)
- ・フードに防火ダンパーが必要な場合は、別売の防火ダンパー (P-18DUT-KN) を設置してください。

※個々の製品の説明書をお読みください。

SC小屋裏ファン据付け

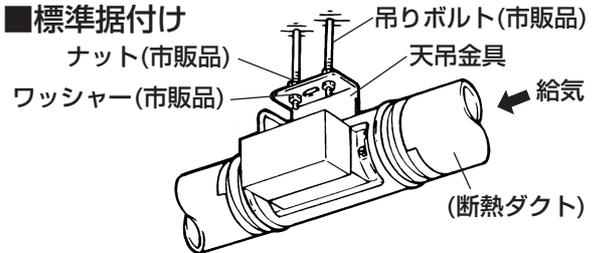
■天吊据付け



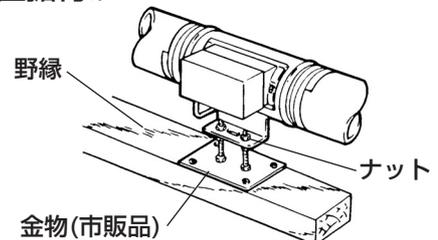
! SC 小屋裏ファン本体はボリュームカバーが側面にくるように据付けてください。

電動シャッター据付けパターン

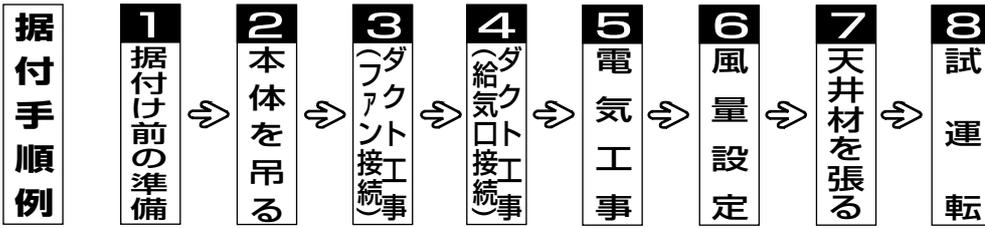
■標準据付け



■据置据付け



4.据付方法

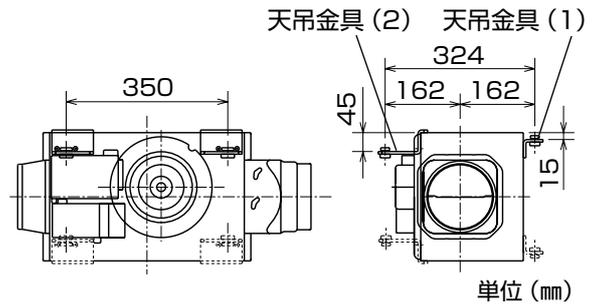


1 据付け前の準備 ~ 2 本体を吊る

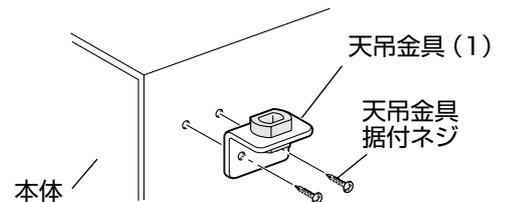
SC小屋裏ファン

! SC 小屋裏ファン本体はボリュームカバーが側面にくるように据付けてください。

1. 据付位置・壁排気穴位置・小屋裏吸込口据付位置を決める。
2. 吊りボルトを埋め込む
 - 右図の天吊金具据付位置を参照して吊りボルト (M8) を埋め込む。
 - 右図の破線部に天吊金具を据付けると天地逆据付けができます。



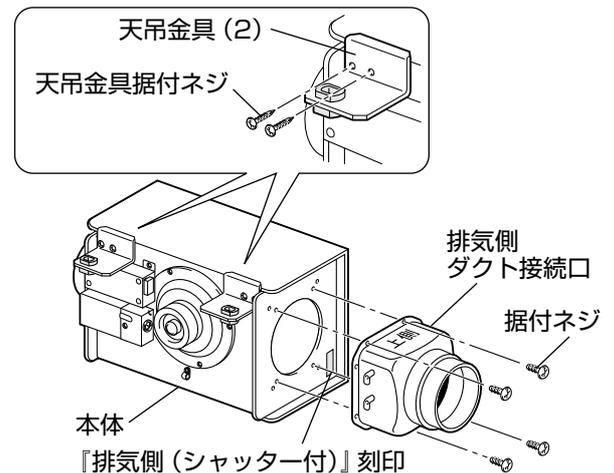
3. 天吊金具 (1) (2) を据付ける。
 - 本体のへこみ部に天吊金具の穴2か所を合わせ、付属の天吊金具据付ネジ (2本) で据付ける。



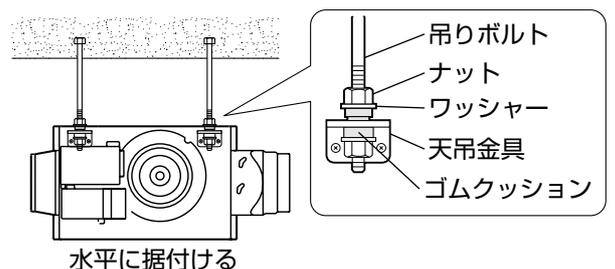
4. 排気側ダクト接続口を据付ける。
 - 内部のシャッターがスムーズに動くかを確認する。
 - 「上側」の印が上になるよう付属のネジ4本で本体の「排気側 (シャッター付)」の文字がある側に据付ける。

お願い

- 排気側ダクト接続口は上・下を間違えないように据付けてください。(シャッターが閉まらず外風侵入の原因となります)



5. 本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定する。



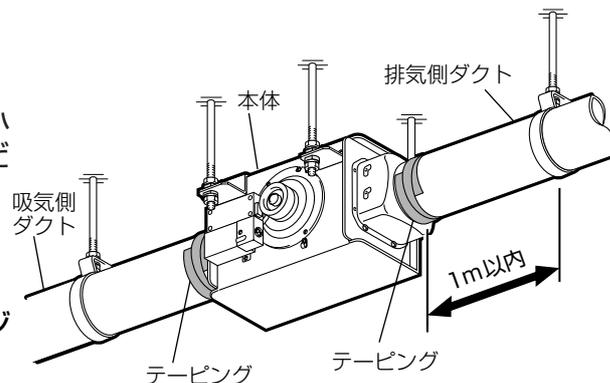
4.据付方法 つづき

3 ダクト工事(ファン接続)

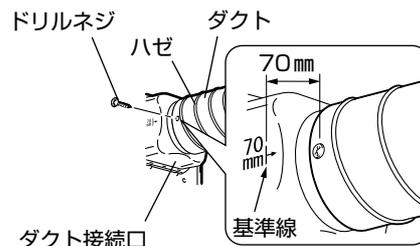
※ダクトに関する取扱いについては、SCナビシステム用小屋裏ファンダクトセットに同梱の据付説明書をご参照ください。

SC小屋裏ファン

1. 本体から壁排気穴・小屋裏吸込口位置までダクト配管をする。
2. 右図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。
 - ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右記表を参照してください。ネジの長さを間違えるとシャッター開閉や固定不良の原因となります。
3. ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。
4. 風漏れのないようSC気密シーリングテープ等でネジの頭をテーピングする。



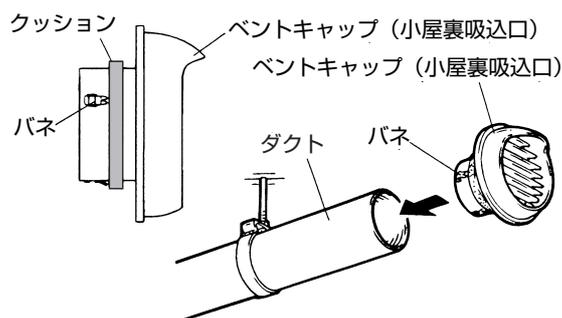
ダクトとダクト接続口の接続はネジで固定してください



ダクト呼び径 φ150の場合		
ダクトの種類	消音ダクト	断熱ダクト
ネジ 呼び長さ	19	30

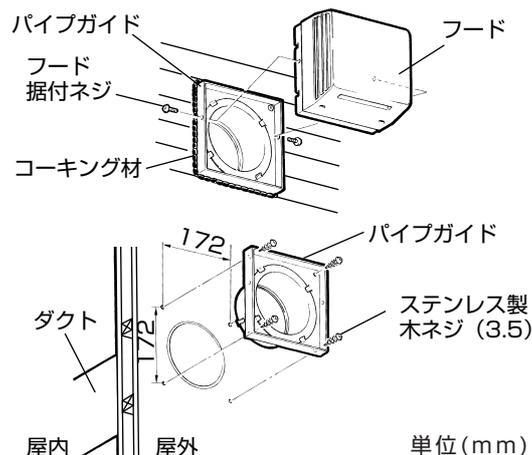
ベントキャップ (小屋裏吸込口)

1. 付属のクッションをベントキャップ (小屋裏吸込口) のダクト挿入側外周に貼り付ける。
 - クッションは厚さ3mmと5mmのものがあるので、ダクトとベントキャップとのすき間に応じて使い分ける。
 - クッションはバネに当たらないようバネを避けた位置に貼り付ける。
2. ダクトに差し込む。
 - バネにより固定されます。



耐外風高性能フード (フード)

1. フード据付ネジ (2本) をはずし、フードを取りはずす。
2. 右図を参考に、あらかじめ外壁にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、市販のカールプラグ (#8) を挿入する。
3. パイプガイドの「上」印を上にしてダクトに差し込み、市販のステンレス製木ネジ (3.5) 4本で下地に確実に固定する。
4. 取りはずしたフード据付ネジ (2本) で、フードをパイプガイドに確実に固定する。
 - 140N・cm以下の締付トルクで締め付けてください。
5. 壁面とのすき間に雨水が入らないように市販のコーキング材で防水処理をする。



単位(mm)

お願い

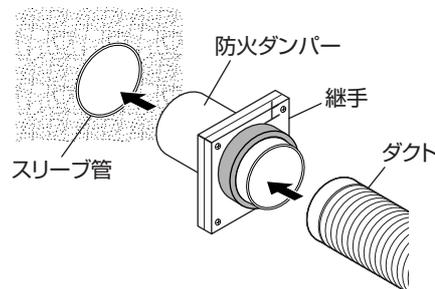
- 壁とダクトの間に防水工事がされていることを確認してください。

防火ダンパー (オプション) P-18DUT-KN (φ150)

お願い

- 防火ダンパーに温度ヒューズが正常に据付けられているか確認してください。
- 据付方法詳細については防火ダンパー (P-18DUT-KN) 据付説明書をご覧ください。

1. フード設置後、防火ダンパーを室内側からスリーブ管 (長さ300mm) に差し込む。
2. スリーブ管と防火ダンパーを市販のアルミテープで確実に固定する。
3. 継手とダクトを市販のアルミテープで確実に固定する。



4 ダクト工事(給気口接続)

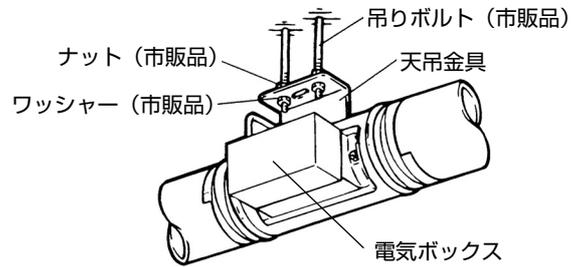
※ダクトに関する取扱いについては、SC小屋裏給気口ダクトセットに同梱の据付説明書をご参照ください。

電動シャッター

1. 据付位置を決める。
2. 吊りボルトを埋め込む。
 - 外形寸法図を参照してあらかじめ市販の吊りボルトを埋め込む。
 - 野縁据付けや壁据付けの場合は市販の金具をしっかりと固定する。
3. 本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定する。
4. 本体接続口の両側にダクト(断熱ダクト及び非断熱ダクトに取付けたカフス)を本体の止め部分までしっかり差し込み、ホースバンドで仮固定する。
5. 試運転完了後、ホースバンドを増し締めしてダクトをしっかり固定し、市販のアルミテープで風漏れ防止を行う。

お願い

- 電気ボックス側は、障害物との距離が200mm以上確保できるように据付けてください。
- 下の階からの点検となる場合は、点検口(□450mm)のスペースを確保してください。

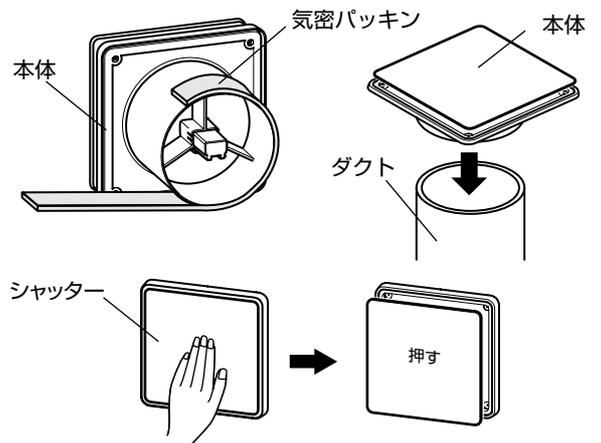


小屋裏給気口

1. 埋込みパイプ径に合わせて、付属の気密パッキンを本体パイプの端面に巻き付けてください。
 - 気密パッキンは厚さ3mmと5mmのものがあるので、本体パイプと非断熱ダクトのすき間に応じて使い分ける。
2. ダクトに差し込む。
 - シャッターが閉鎖状態の場合はシャッターの中央にある「押す」表示部を押し、全開状態にしてください。
3. 本体とダクトを市販のアルミテープで確実に固定する。

お願い

- 小屋裏給気口に付属するフィルターのメンテナンスができる点検口、足場を確保してください。(交換用フィルター P-18QRF)



耐外風高性能フード(フード)

- **3 ダクト工事(ファン接続)** (6ページ)と同じように据付けてください。

5 電気工事

- 電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。

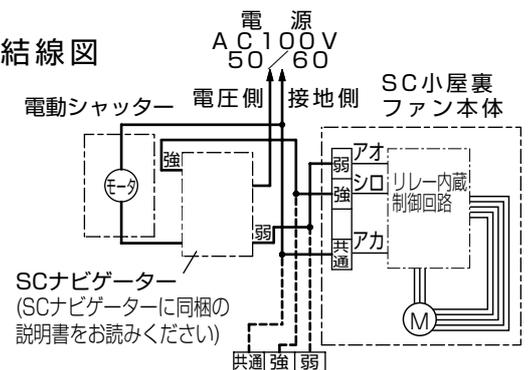
SC小屋裏ファン側

1. 電源コード(適用電線 単線φ1.6、φ2 例:VVF)を本体の端子台(速結端子)に接続する。
2. 接続後、電源コードを引っ張り抜けないことを確認する。

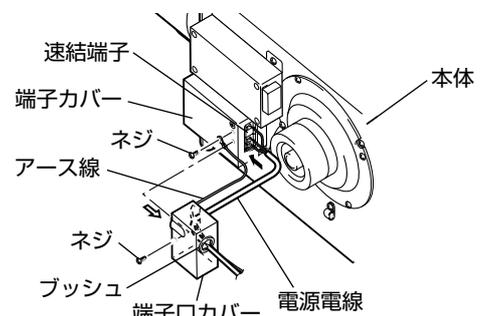
電動シャッター

1. 結線図にしたがって、電源コードと電動シャッターのコードを接続する。

■結線図

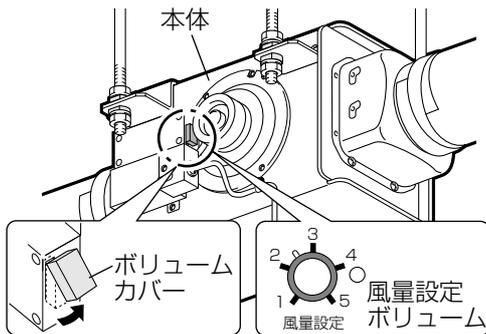


SC小屋裏ファンを2台接続する場合
※SC小屋裏ファンはSCナビゲーターに同時に2台まで接続が可能



6 風量設定（初期設定）

本体外部の風量設定ボリュームで風量の初期設定を行います。



■風量設定の目安

定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	風量設定	風量の目安 (m³/h) ※1		床面積の目安 ※2
			強運転	弱運転	
100	50-60	5	280	200	200m²以上
		4	245	175	165m²
		3	210	150	130m²
		2	175	125	100m²
		1	140	100	75m²以下

※1：風量は所定のダクトセットを装着したときの目安となります。

※2：建物の延床面積を目安として設定する風量を決めてください。

1. 本体外部のボリュームカバーをはずす。
2. 右表を目安に風量設定を行う。（工場出荷時は「5」に設定されています）
3. 風量設定後、設定した風量（風量設定ボリュームの数字）に油性マジックで○をつける。
4. ボリュームカバーを元通り取付ける。

お願い

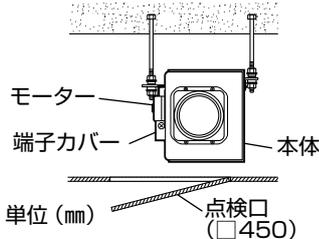
- 風量設定ボリュームに強い力を加えないでください。内部の電子部品が破損する原因になります。
- 風量設定ボリュームは、設定風量の目盛に合わせてください。目盛の中間点にボリュームが位置されるとどちらの設定をされているか不明の領域となります。

7 天井材を張る

※点検口は、小屋裏からのメンテナンスが不可能な場合設置

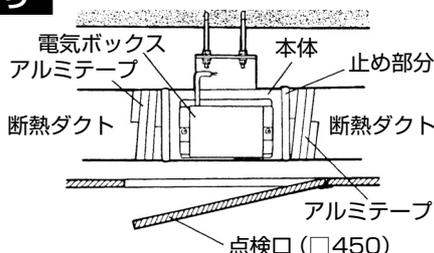
SC小屋裏ファンまわり

1. 天井材を張る。
2. モーターと端子カバーが点検できる位置に点検口を設ける。



電動シャッターまわり

1. 天井材を張る。
2. モーターと電気ボックスが点検できる位置に点検口を設ける。



8 試運転

据付け終了後、結線が間違っていないか確認し、次の確認をしてください。

1. SCナビゲーターにて正常な運転が出来ますか？
 - SC小屋裏ファンの風は強弱に切り換わっていますか？
 - 電動シャッターは開・閉していますか？（開閉確認はダクトを取りはずして目視にて確認ください）
2. 振動・異常音はありませんか？

メモ

- SCナビゲーターの電源スイッチを「運転」にしてから、接続機器の状態変化が約1分かかる場合があります。

5.こんなとき

次のような症状があれば点検してください。点検しても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤のブレーカーを切ってからお買上げの販売店にお申しつけください。

こんなとき	原因	対策
電源スイッチを入れてもファンの羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※ファンにAC100Vが供給されていることを確認する
運転中に異常音や振動がする	本体が確実に据付けられていない	据付け直す
	羽根に異物が付着している	異物を取り除く
	電動シャッターが閉じたままになっている	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※電動シャッターにAC100Vが供給されていることを確認する

システム開発 資材供給

株式会社ソーラーサーキットの家

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-26-1 (横浜アーバンビル8階)
TEL:045-508-6640 FAX:045-508-6631 <http://www.schs.co.jp>

この説明書は、再生紙を使用しています。